

2016年度環境会計報告

環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取組み				
		投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト	-	30,657	223,278	30,745	458,792
公害防止コスト	受水槽更新工事、水性ピット漏洩防止建屋、排ガス測定、排水分析	30,580	69,730	30,580	77,839
地球環境保全コスト	カーボンオフセットプロダクツ販売諸経費、ソリューション提案に係わる諸経費	77	119,692	77	120,388
資源循環コスト	一般廃棄物と産業廃棄物の減量化、リサイクル	0	33,856	88	260,565
上・下流コスト	廃棄物処理業者視察、グループ会社環境ISO活動指導、使用済み製品の運搬、リサイクル、処理費用	0	827	0	18,595
管理活動コスト	環境ISOの維持管理活動、環境ラベルの取得、展示会出展などによる情報開示、環境パフォーマンス等の監視、事業所内の緑化、レンタル資産減価償却費	0	209,636	0	221,487
研究開発活動コスト	環境負荷の低減に貢献する製品の設計・開発、新素材の研究・開発	18,007	116,983	18,007	116,983
社会活動コスト	ユニバーサルデザイン、環境関連団体への参画、社会貢献活動の実施	0	235	0	235
環境損傷対応コスト	-	0	0	0	0
合計		48,664	550,959	48,752	816,092

集計範囲 イトーキおよび国内製造系グループ会社3社((株)イトーキ東光製作所、イトーキマルイ工業(株)、富士リビング工業(株))、国内非製造系グループ会社7社((株)イトーキマーケットスペース、(株)イトーキエンジニアリングサービス、(株)シマソービ、(株)イトーキ北海道、三幸ファシリティーズ(株)、(株)エフエム・スタッフ、(株)イトーキシェアードバリュー)

集計期間 2016年1月1日～12月31日

参考にしたガイドライン 環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

集計の考え方 ・ 環境活動以外の内容を含んでいる投資・費用は、環境活動に係わる割合を適切に按分して算出
 ・ 研究開発活動コストは、弊社「環境アセスメントガイドライン」の基準に則り開発テーマごとに環境に係わる割合を適切に按分して算出
 ・ 環境配慮製品の計上は、環境配慮製品と非配慮製品との価格差が大きいハイブリッド車のみ差額を計上

環境保全効果

項目	イトーキ単体		イトーキグループ		前年度比		集計範囲
	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	イトーキ単体	イトーキグループ	
PRTR法届出対象物質 取扱量 (t)	53	51	-	-	-2	-	イトーキ単体
NOX排出量 (kg)	8,823	7,303	-	-	-1,520	-	イトーキ単体
SOX排出量 (kg)	1	1	-	-	0	-	イトーキ単体
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	19,489	18,996	22,939	22,701	-493	-238	イトーキ+社
廃棄物総排出量 (t)	5,157	5,546	8,017	10,565	389	2,548	イトーキ+9社
廃棄物焼却・埋立処分量 (t)	54	33.4	161	503	-21	343	イトーキ+9社
産業廃棄物リサイクル率	99%	99.40%	99%	94.80%	0.40%	-4.20%	イトーキ+9社
事業系一般廃棄物リサイクル率	99%	99.50%	99%	98.20%	0.50%	-0.80%	イトーキ+9社
エコマーク登録商品数	16	14	-	-	-2	-	イトーキ単体

集計範囲 「イトーキ+9」: イトーキおよび国内製造系グループ会社4社、国内非製造系グループ会社5社((株)イトーキシェアードバリュー、(株)エフエム・スタッフはイトーキビル内に在籍しており、CO₂排出量、廃棄物排出量はイトーキとしてカウントしている為、除く)

集計期間 2016年1月1日～12月31日